テキスタイルカレッジ

繊維製品の品質管理と品質保証

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法，そして製品に影響する紡績・紡糸，編織工程での糸，布の品質欠点に関する講座を開催します．

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケンから，機能性試験の内容と評価基準について繊維評価技術協議会から，製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます．また，消費者に直接届く最終製品のみならず，紡績，織，編の各工程における糸，織物，編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について，村田機械㈱，TMT マシンナリー㈱，津田駒工業㈱，尾張繊維技術センターから解説していただきます．技術分野の初心者の方々だけでなく，営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます．多数の方のご参加をお待ちしています．

日　時　**平成 27 年 2 月 27 日（金）10.00 ～ 17.40**

会　場　大阪科学技術センター（大阪市西区靭本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28 号出口北へ徒歩 5 分）

内　容　（1）生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明（10.00～11.10）
……（一財）ニッセンケン品質評価センター東京事業所研究開発課課長　木内　　智
（2）機能性試験の内容と評価基準（11.15～12.25）
……（一社）繊維評価技術協議会大阪支所参事，日本繊維機械学会フェロー　越智　清一
（3）製品クレームの事象と対策例（13.15～14.25）
……（一財）ボーケン品質評価機構大阪事業所技術サービス課課長　加茂　春樹
（4）溶融紡糸長繊維生産品の品質欠点について（14.30～15.20）
…… TMT マシナリー㈱第 1 ソリューション部　中田　賢一
（5）紡績工程における品質欠点と最終製品への影響（15.20～16.10）
…… 村田機械㈱繊維機械事業部，日本繊維機械学会フェロー　松本　龍守
（6）織物工程における品質欠点と最終製品への影響度（16.20～17.00）
…… 津田駒工業㈱繊維機械技術部技術織機 2 課　伴場　秀樹
（7）編物工程における品質欠点と最終製品への影響度（17.00～17.40）
…… あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター　田中　利幸

協　賛　大阪染色協会

参加費　会員 15,000 円　非会員 23,000 円　学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円（税別）

参加費　30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

申　込　「**テキスタイルカレッジ―繊維製品の品質管理と品質保証**」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい．学会 HP より参加申込書のダウンロードができます．

問い合わせ先　日本繊維機械学会
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail：i-love-tmsj@nifty.com

企画委員

委員長　武内　俊次　　副委員長　田上　秀一，田先　慶多，藤田　浩行，松﨑　　健
委　員　井出　潤也，伊藤　智樹，稲富伸一郎，潮田ひとみ，梅木　英雄，奥林　里子，
杉山　　稔，田中　　潤，徳山　孝子，中西　康雅，仲井　朝美，伴場　秀樹，
廣澤　　覚，山内　康史，山元　由江，米澤　修一，若松　栄史
アドバイザリー委員　宇治　光洋，越智　清一，岡　　卓之，中村　　信，松下　義弘，六田　克俊

テキスタイルカレッジ

2日で学ぶ布づくり

テキスタイルカレッジシリーズの入門編として，繊維工学を系統的に学ぶ機会の少なかった新入社員の方，新しく繊維業務に携わられる方などを対象に，2日間で布づくりの大まかな流れ・基本的用語等を理解できるように企画しました．

企業や大学で既に繊維業務に携わっておられる方にとっては，繊維と繊維製品の製造，性能，用途について再認識していただく場になればと思います．関係各位，多数の方々のご参加をお待ちしています．

日　時　**平成27年5月20日（水），21日（木）**

会　場　大阪科学技術センター（大阪市西区靭本町1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28号出口北へ徒歩5分）

内容予定

1日目【5月20日(水)】

(1) テキスタイル概論（10.00～11.10）…… 金沢大学理工研究域機械工学系教授　喜成　年泰
(2) 繊維の材料（天然繊維と化学繊維）（11.20～12.50）
……京都工芸繊維大学工芸科学研究科バイオベースマテリアル学部門教授　山根　秀樹
(3) 紡績概論（13.50～15.00）…… 講師未定
(4) 製織（15.10～16.20）…… 金沢大学理工研究域機械工学系教授　喜成　年泰
(5) 編組（16.30～17.40）…… ㈱福原精機製作所開発課　武内　俊次
(6) 交流会（17.40～）

2日目【5月21日（木)】

(7) 染色・加工（9.30～11.00）……
京都工芸繊維大学工芸科学研究科バイオベースマテリアル学部門准教授　安永　秀計
(8) 縫製（11.10～12.20）…… ㈱レフトバンク取締役　岡　卓之
(9) 不織布（13.20～14.50）…… 元京都女子大学，日本繊維機械学会フェロー　矢井田　修
(10) 布の性能評価（15.00～16.10）…… 神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授　井上　真理
(11) 繊維強化複合材料（16.20～17.30）…… 三重大学教育学部准教授　中西　康雅
(12) 修了証贈呈式（17.30～17.40）

協　賛　大阪染色協会，関西ファッション連合

定　員　50名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費　会員25,000円　非会員33,000円　学生会員5,000円，学生非会員7,000円（税別）

申　込　「**テキスタイルカレッジ―2日で学ぶ布づくり**」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX番号，E-mailアドレス），④会員種別，⑤交流会（無料）への参加有無を記入の上，FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい．学会HPより参加申込書のダウンロードができます．

申込先　日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail：i-love-tmsj@nifty.com

テキスタイルカレッジ予定表

テキスタイルカレッジは，海外諸国に比較して弱体化しつつあり，体系的教育がほとんど行われていなかった我が国の繊維教育に対し，本学会が持つ繊維に関する知識情報の動員機能を活用して，人材育成と技術継承を主目的とした歴史ある教育コースです．

ベテランの方々には知識の整理に，中堅の方々には情報の収集に，若手の方々には基礎知識の吸収に，テキスタイルカレッジへのご参加をお薦め申し上げます．

平成26年
6月19日(木)「染色加工基礎講座」（1日目）
6月20日(金)「染色加工基礎講座」（2日目）
7月11日(金)「糸づくり講座」
8月　1日(金)「織り組み編み基礎講座」
9月25日(木)「不織布実用講座」（1日目）
9月26日(金)「不織布実用講座」（2日目）
10月24日(金)「染色加工応用講座」
11月　7日(金)「実習：KESによる布特性の測定講座」
11月14日(金)「感覚と計測」
12月　9日(火)「合繊の基礎と最新の技術」（1日目）
12月10日(水)「合繊の基礎と最新の技術」（2日目）

平成27年（決定分）
2月27日(金)「繊維製品の品質管理と品質保証」
5月20日(水)「2日で学ぶ布づくり」(1日目)
5月21日(木)「2日で学ぶ布づくり」(2日目)

講演会　環境低負荷染色加工プロセス

多量の水とエネルギーを消費するこれまでの染色加工技術に代わり，「環境低負荷」をキーワードとした今後期待される染色加工プロセスについて，概論から最新の企業技術まで６名の講師の方にお話しいただきます．関連の研究者，技術者各位の奮ってのご参加をお待ちしています．

日　時　**平成 27 年 3 月 13 日（金）10.00～16.50**

会　場　大阪科学技術センター
（大阪市西区靭本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28 号出口北へ徒歩５分）

内　容

（1）概論（10.00～10.50）
…… 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科先端ファイブロ科学部門准教授　奥林　里子

（2）地球に優しい ECO プリント「ペーパー捺染法」の開発と工業化（11.00～11.50）
…… ㈱ SMI 技術顧問，京都府中小企業特別技術指導員　山田　英二

（3）題目未定（13.00～13.50）…… 依頼中

（4）エレクトロスプレー法を用いた染色・抗菌加工技術（14.00～14.50）
…… 産業技術総合研究所環境管理技術研究部門環境分子科学研究グループ研究グループ長　脇坂　昭弘

（5）セルロース系繊維におけるデジタルプリント加工（15.00～15.50）
…… 東海染工㈱取締役開発技術部部長　鷲　　裕一

（6）ECO 対応染色加工装置のトピックス（16.00～16.50）
…… 元日本染色協会，日本繊維技術士センター理事　森本　國宏

定　員　40 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費　会員 15,000 円，非会員 25,000 円，学生会員 2,000 円，学生非会員 5,000 円（税別）

申　込　「**講演会―環境低負荷染色加工プロセス**」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい．学会 HP より参加申込書のダウンロードができます．

申込先　日本繊維機械学会
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail：i-love-tmsj@nifty.com

協賛行事　（第２回）小中学生向けテキスタイルセミナー ステナイデア・ファイバーフェスタ 2015

日　時　**平成 27 年 3 月 22 日（日）10.00～**

会　場　国崎クリーンセンターゆめほたる（兵庫県川西市国崎字小路 13，阪急能勢電鉄「山下」より無料シャトルバスを運行）

内　容　繊維の不思議をマジックで見せる大好評のサイエンスショーの他に，ギャラリーにて入江泰吉写真展「日本の原風景」を併催．
記念講演会「北摂の原風」と題して次の記念講演会を開催．
（1）エドヒガン群生林の価値と保全 …… 兵庫県森林動物研究センター　石田　弘明
（2）里山の衣文化－繊維が語る歴史と風土 …… 京都工芸繊維大学　前川善一郎
（3）万葉集に描かれた北摂 …… 能勢電鉄　服部　　保
（4）万葉コンサート …… 高岡市万葉歴史館　坂本　信幸

参加費　無料

平成 27 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」公募

平成 27 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので，下記の要領により奮ってご応募下さい．

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する技術研究または技術開発のなかで，創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです．応募資格は本学会の会員であり，前述の業績を挙げた研究者，技術者個人またはおおむね６名以内のグループとします．また，原則として，５年以内の技術を対象とします．

応募される方は，下記の提出書類を添えて**平成 27 年 1 月 16 日（金）必着**で，下記の申込先宛送付して下さい．

提出書類　次の書類を２部（正１部，副１部，副は複写も可）提出して下さい．

(1) 技術賞応募用紙（所定の書式の用紙：学会 Web サイトからダウンロードするか，学会事務局までご請求下さい）

(2) 応募業績に関する参考資料（参考資料例：特許，図面，新聞記事，納入実績リスト，カタログ，技術資料など）

選考方法　(1) 一次選考（書類審査）により選抜された業績について，二次選考（現地調査）を行います．

(2) 二次選考は，必要に応じて応募者の対象技術が実在し，稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います．

二次選考の実施時期につきましては，当該者へ後日連絡します．

そ の 他　応募書類は選考の資料としてのみ使用し，選考終了後一定期間保管し安全に破棄します．

応募締切　**平成 27 年 1 月 16 日（金）17 時必着**

申込先ならびに問い合わせ先　日本繊維機械学会　技術賞選考委員会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail：i-love-tmsj@nifty.com

参考資料　過去３カ年の「技術賞」受賞者一覧

・平成 24 年度

該当なし

・平成 25 年度

「次世代環境調和型電子写真方式デジタルプリントシステム」

……京都市産業技術研究所　早水　督，廣澤　覚

長瀬産業㈱　大硲　一宏，岡本　和巳

桂川電気㈱　田代　雅也，山﨑　誠

「高機能競泳用水着」……㈱アシックス　森　洋人，勝　眞理，西脇　剛史

「高速紡績機の糸たるみ吸収装置の開発」

……村田機械㈱　平尾　修，上田　健一，重山　昌澄，八木　宏幸

・平成 26 年度

「バット染料による綿ニット染色用液流染色機の開発」

……㈱日阪製作所　清水　徹，五反田一志，白石　健二

㈱ワコウナレッジ　若生　寛志

福井大学　中根　幸治

「製織・縫製同時生産システムを目指したスワイベル織装置の開発」

……㈱片山商店　小紫　和彦，片山　象三

兵庫県立工業技術センター繊維工業技術支援センター　古谷　稔，東山　幸央

サイエンティフィックテクノロジーズ㈲　村尾　良男

神戸大学　井上　真理

第 68 回年次大会研究発表募集

日本繊維機械学会は昭和 23 年に創立以来，「繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展を図り，かつこれに関する工業の発展に資すること」を目的として諸活動を展開してまいりました．

お蔭さまで，年次大会も第 68 回目を迎えます．本学会の年次大会の特色は，繊維機械を含む繊維・繊維製品がかかわる幅広い領域を網羅していること，製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされていることにあります．今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう，幅広い分野からの発表を募集します．

今回の年次大会では，特別講演として企業の商品開発の戦略としての技術の価値，モノづくりにかかわる講演も予定しています．「Made in Japan」の製品に求められている付加価値を付与するための技術と経営について，皆様と一緒に考える場になればと考えています．

喜成新会長は就任の挨拶で，繊維や繊維工学の高等教育機関が減少した我が国における技術者教育の必要性を述べるとともに，それを果たすために，本学会は人の交流を広げ，人を育てる場であると明言しています．年次大会は年に一度，全国の会員が一堂に介して，研究発表会，特別講演会，懇親会に参加し，学術的・技術的交流を深め，情報交換，意見交換をする最も良い機会と考えます．

日本経済も少しずつではありますが，明るい兆しが見えてまいりましたし，2020 年の東京オリンピックでは繊維にかかわる様々な開発が期待されるところです．このような背景も踏まえながら，皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思います．また，35 歳以下の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」，「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます．ベテランの研究者から，経験の少ない若手の方々まで，多くのみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしています．

期　日　**平成 27 年 6 月 5 日（金），6 日（土）**

会　場　大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，北へ徒歩３分）

〔　〕内はオーガナイザー

1. 研究発表セッション

(a) テキスタイルの科学と工学

〔金井　博幸（信州大学），山本　貴則（大阪府立産業技術総合研究所），若子　倫菜（金沢大学）〕

キーワード：繊維製品，アパレル素材，縫製技術，性能評価，風合い，着心地，感性，感覚計測，試験方法，テクテキスタイル，不織布，生活資材，メディカル資材

(b) 繊維機械の科学と工学

〔喜成　年泰（金沢大学），太田　幸一（岐阜市立女子短期大学），藤田　浩行（兵庫県立工業技術センター）〕

キーワード：繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術，繊維機械の基礎研究，流れの科学，紡績技術，化合繊機械，織機，編機，準備機械，織編技術，各種繊維関連機器

(c) ナノファイバー

〔山下　義裕（滋賀県立大学），金　翼水（信州大学），中根　幸治（福井大学），向井　康人（名古屋大学）〕

キーワード：フィルター，ナノテクノロジー，エレクトロスピニング，メルトブローン，生体材料

(d) スマートテキスタイル

〔森本　一成（京都工芸繊維大学），髙橋　秀也（大阪市立大学），藤岡　潤（石川工業高等専門学校）〕

キーワード：導伝繊維，スマート材料，環境，実装，情報

(e) 環境対応技術

〔木村　照夫（京都工芸繊維大学），小田　涼太（三晶），豊田　宏（太陽工業）〕

キーワード：リデュース，リユース，リサイクル，省エネ，エコロジー，LCA，生分解性，未利用資源，バイオマス，環境負荷低減，節電

(f) 繊維強化複合材料

〔中西　康雅（三重大学），植松　英之（福井大学），仲井　朝美（岐阜大学），中村　崇人（藤倉ゴム工業）〕

キーワード：FRP，熱可塑性樹脂複合材料，金属基複合材料，セラミックス基複合材料，ナノコンポジット，有機・無機繊維，強化形態，マトリックス材，複合効果，傾斜機能

(g) 染織品・染織文化財

〔岡本　陽子（神戸女子大学），井上　尚子（椙山女学園大学），高井　由佳（大阪産業大学）〕

キーワード：天然繊維，染織文化財，きもの，組紐，編物，伝統技法，織技法，染技法，衣文化，民族衣装，保存，修復，復元，文様，色彩，デザイン，データベース，文化財

(h) 被服心理・ファッション

〔徳山　孝子（神戸松蔭女子学院大学）〕

キーワード：アパレル，色彩，デザイン，消費者，ビジネス，ジェンダー，顧客満足，ブランド，流行，購買行動，ユニバーサルファッション

(i) 染色・機能加工

〔安永　秀計（京都工芸繊維大学），奥林　里子（京都工芸繊維大学），上甲　恭平（椙山女学園大学）〕

キーワード：染料/顔料/色素，染色・加工処理剤，新規材料合成，染色・機能加工，デジタル染色，超臨界染色加工，エコ染色加工，ドライプロセス（電子線/紫外線/プラズマ），堅ろう度向上，廃液処理，環境/持続社会，バイオベースマテリアル，食品・農芸分野，ヒューマンオリエンテッド

(j) バーチャルテキスタイル

〔石丸　園子（東洋紡），中西　康雅（三重大学），西脇　剛史（アシックス），横山　敦士（京都工芸繊維大学），若松　栄史（大阪大学）〕

キーワード：繊維製品，バーチャル技術，数値解析，CAE，CAD

2. 製品紹介セッション

〔武内　俊次（福原精機製作所），田先　慶多（日本毛織），前川　明弘（東レ），松﨑　健（ミズノ）〕

繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです．

その内容に PR 色があっても差し支えありません．この点が，このセッションの大きな特徴です．

広い範囲から製品，技術の進展に関連する発表を募集します．口頭発表とポスター発表（ポスターセッション）の製品紹介コーナーの両方に同じ発表内容を応募することができます（ダブルエントリーでも料金は発表 1 件分です）．

3. ポスターセッション

〔保田　和則（愛媛大学），勝圓　進（倉敷紡績）〕

ポスターセッションは，発表者と意見交換できる場です．

このセッションには，(1) 学術研究発表コーナー，(2) 製品紹介コーナー（製品展示･実演も可能）があります．同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます．

学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に（製品紹介セッション，ポスターセッションは該当しません），平成 27 年 3 月 31 日の時点で 35 歳以下の若手発表者に限って優秀な口頭発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます．審査委員により，提出された原稿に基づく第一審査，第一審査を通過された場合，当日の口頭発表での第二審査を行います．ベストポスター発表賞とのダブルエントリーはできませんのでご注意下さい．

ベストポスター発表賞

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に（製品紹介コーナーは該当しません），平成 27 年 3 月 31 日の時点で 35 歳以下の若手発表者に限って優秀なポスター発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます．同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーも可能です．ただし，学術奨励賞とのダブルエントリーはできません．

発表申込方法

申込はメールで受け付けます．下記の要領でメールに必要事項をご記入の上，次のアドレスまでお送り下さい．

tmsj@rose.plala.or.jp

受付メールを自動的に分類する都合上，メールの件名は特に正確にご記入下さい．

学会 HP（http://tmsj.or.jp/）の年次大会頁にも同様の案内があります．

メールの件名の書き方

メールの件名は以下から選び，そのままコピー＆ペーストして件名欄に記載して下さい．
これら以外の文字は件名欄に書かないで下さい．

テキスタイルの科学と工学
繊維機械の科学と工学
ナノファイバー
スマートテキスタイル
環境対応技術
繊維強化複合材料
染織品・染織文化財
被服心理・ファッション
染色・機能加工
バーチャルテキスタイル
製品紹介セッション
ポスターセッション

メールの本文の書き方　メールの本文には次の事項をお書き下さい．

（1）申込者氏名，所属，連絡先住所，電話，FAX
（2）ご希望のセッション（ポスターセッションの場合は，学術研究発表コーナーまたは製品紹介コーナーの区別）
（3）発表題目，発表者名（連名者）の氏名ならびに所属（登壇者に○）
（4）研究発表概要（100 文字以内）
（5）学術奨励賞応募の有無，ベストポスター発表賞応募の有無，賞に応募する場合は登壇者の年齢（平成 27 年 3 月 31 日時点）
（6）関係書類（参加証等）の配送先（氏名，所属，連絡先），（1）と同じ場合には記載は不要です．
（7）その他の連絡事項

発表申込締切　**平成 27 年 2 月 20 日（金）17 時必着**

その他　（1）講演 1 件につき，講演時間 20 分（質疑応答 4 分，交代 1 分を含む）を予定しています．
（2）口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み（ダブルエントリー）の場合は，件名のみを変更して同じ本文内容で別々のメールでお送り下さい．このとき，メール本文の【その他の連絡事項】に重複申し込みしている旨をご記載下さい．
（3）ポスターボードの大きさ
①学術研究発表コーナー：たて 1170 mm，よこ 870 mm．
②製品紹介コーナー：たて 841 mm，よこ 594 mm．
（4）発表者は自動的に参加登録されます．あらかじめご了承下さい．

原稿提出締切　**平成 27 年 4 月 13 日（月）17 時必着**

・原稿は，学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き，書式にしたがって A4 判 2 枚にまとめて下さい．
・書式から大きくはずれた原稿は受付できません．
・参加登録費：会員・発表者 8,000 円，非会員 13,000 円，学生会員 3,000 円，学生非会員 5,000 円
（事前登録日以降の登録（当日を含む）は各々 2,000 円追加）
発表者は自動的に参加登録されます．

問い合わせ先　日本繊維機械学会（第 68 回）年次大会実行委員会
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

ナノファイバー研究会（第 18 回）研究例会

期　日　平成 27 年 1 月 29 日(木)，30 日(金)

会　場　講演会：愛媛大学工学部本館 4 階 S401 号室（愛媛県松山市文京町 3）
見学会：愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター（愛媛県四国中央市妻鳥町乙 127）

内　容

1 日目【1 月 29 日(木)】

(1) TOC 及び TOCN を用いた機能性材料について（13.00～14.00）
…… 愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター主任研究員　大塚　和弘
(2) セルロースシングルナノファイバーの増粘剤への応用（14.10～15.10）
…… 第一工業製薬㈱機能化学品事業部機能化学品研究所合成研究グループ課長　神野　和人
(3) ファイバー分散流体の流体力学（15.20～16.20）
…… 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻教授　保田　和則
(4) ディスカッション（16.20～17.00）
(5) 交流会（17.15～19.00）

2 日目【1 月 30 日(金)】

見学会「愛媛県産業技術研究所　紙産業技術センター」(10.00～12.00)

参加費　会員 10,000 円，非会員 18,000 円，学生会員無料，学生非会員 3,000 円（税別）
ナノファイバー研究会メンバー無料，交流会参加費別途 4,000 円程度

申　込　「**ナノファイバー研究会（第 18 回）研究例会**」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別，⑤交流会参加の有無を記入の上，FAX または E-mail にてお申し込み下さい．1 日目（講演会）または 2 日目（見学会）のみの参加も可能です．学会 HP より参加申込書のダウンロードができます．

申込先　日本繊維機械学会　ナノファイバー研究会
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail：i-love-tmsj@nifty.com

ウェブページ移転のお知らせ

このたび本学会では，ウェブページを下記の URL に移転いたしましたのでお知らせします．

http://tmsj.or.jp

JTCC アパレル製品の基礎知識講座

大阪会場　**平成 27 年 1 月 24 日(土)，1 月 31 日(土)：大阪産業創造館**

東京会場　**平成 27 年 2 月 7 日(土)，2 月 14 日(土)：タワーホール船堀**

名古屋会場　**平成 27 年 2 月 28 日(土)，3 月 7 日(土)：名古屋国際センタービル**

内　容　以下の項目に関し，JTCC で作成するテキストをベースにして講義を行い，また適宜サンプルや写真を用いて解説します．講師は，JTCC 所属の各専門分野の技術士が担当します．

Ⅰ．アパレル製品の商品化プロセス，Ⅱ．縫製仕様書，Ⅲ．縫製工程の概要（ニット縫製および無縫製技術も含む），Ⅳ．代表的な縫製欠点，Ⅴ．繊維製品の品質確認方法，Ⅵ．表示等の関連法規，Ⅶ．中国関連情報，Ⅷ．苦情事例解析編

参加費　22,000 円（税込）

問い合わせ先　日本繊維技術士センター（JTCC）
TEL. 06-6484-6506，FAX. 06-6484-6575，E-mail：jtcc@nifty.com

FMC 1 月度セミナー

FMC（ファッション素材センター）の 1 月度セミナーは，下記により開催されます．非会員でもビジターとして参加できます．ご関心のある方はお申し込み下さい．

詳しくは FMC のホームページ（http://www.geocities.jp/fmc_webpage/）をご参照下さい．

日　時　**平成 27 年 1 月 9 日(金) 18.15～20.00**

会　場　大阪産業創造館 5F 会議室 AB（大阪市中央区本町 1-4-5）

内　容　テーマ：感性の色を科学する

店で気に入って購入した衣装が店外で見ると全く違って見えたという体験はありませんか．照明で色が変わって見えること（演色）やある光源で同じに見える色が光源が異なると違って見える現象（条件等色）を光源のスペクトル（分光分布）観察や対象物の分光反射率測定から解明します．また実際に色を測る体験を通し，イメージ色や面積効果の影響を受ける視感測色と数字が独り歩きしやすい物理（機器）測色の落とし穴について概説します．実際の色の見えは物理量で決まるわけではなく，視覚的効果や知覚的効果が大きく作用します．その一端をアニメーションで紹介します．

講　師　Color Lab. for full Life 主宰，日本色彩学会東海支部役員　市場　丈規

参加費　ビジター会員 2,000 円．当日受付にてご納入下さい．［会員は年 11 回のセミナー（10 月は見学会）に無料で参加できます．年会費 12,000 円でどなたでも会員になれます．］

問い合わせ先　「**FMC 1 月度セミナー**」と明記し，①氏名，②住所，③電話または FAX 番号をご記入の上，**12 月 26 日(金)** までに E-mail または FAX にて下記宛お申し込み下さい．
大阪樟蔭女子大学被服学科内 FMC 事務局，E-mail：fmc.office.mail@gmail.com，FAX：06-6723-8227

繊維産業に携わる方々は日本繊維機械学会の会員に！

日本繊維機械学会は，繊維産業（繊維製造～アパレル～流通）に携わる研究者・技術者の結集体として昭和 23 年創立以来，67 年にわたって産学連携を基調に絶ゆまざる活動を続けております．

また，本学会内に設置された研究会（不織布研究会，テクテキスタイル研究会，繊維リサイクル技術研究会，繊維機械研究会，染色加工研究委員会，企業心理と消費者心理研究会，コンポジテックス研究会，染織品と染織文化財研究会，テキスタイル科学研究会，海外資料研究委員会，ナノファイバー研究会，e-テキスタイル研究会，バーチャルテキスタイル研究会）にもそれぞれの分野の方々が参加されています．

学会活動の活発化や会員の相互啓発は会員が多数であればあるほど，より高まり深くなります．会員各位におかれましてもお知り合いの方でまだ未入会の方がおられましたら，ぜひご入会をおすすめいただきますようお願い致します．